

2012年4月13日
株式会社日立製作所
日本マイクロソフト株式会社

日立とマイクロソフトがクラウド事業のグローバル強化で提携 ～グローバル事業展開ユーザー向けクラウドソリューションの提供に向けて協業～

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/本社:東京都千代田区、以下、日立)と日本マイクロソフト株式会社(代表執行役 社長:樋口 泰行/本社:東京都港区、以下、日本マイクロソフト)は、日立のクラウドソリューション「Harmonious Cloud」のグローバル対応の強化と幅広い顧客ニーズへの対応をめざし、「Harmonious Cloud」とマイクロソフトの世界各地のデータセンターから提供されるパブリッククラウドサービス「Microsoft® Windows Azure™ Platform (以下 Windows Azure Platform)」を連携させた、グローバル事業を展開するユーザー向けのクラウドソリューション提供に向けて提携しました。

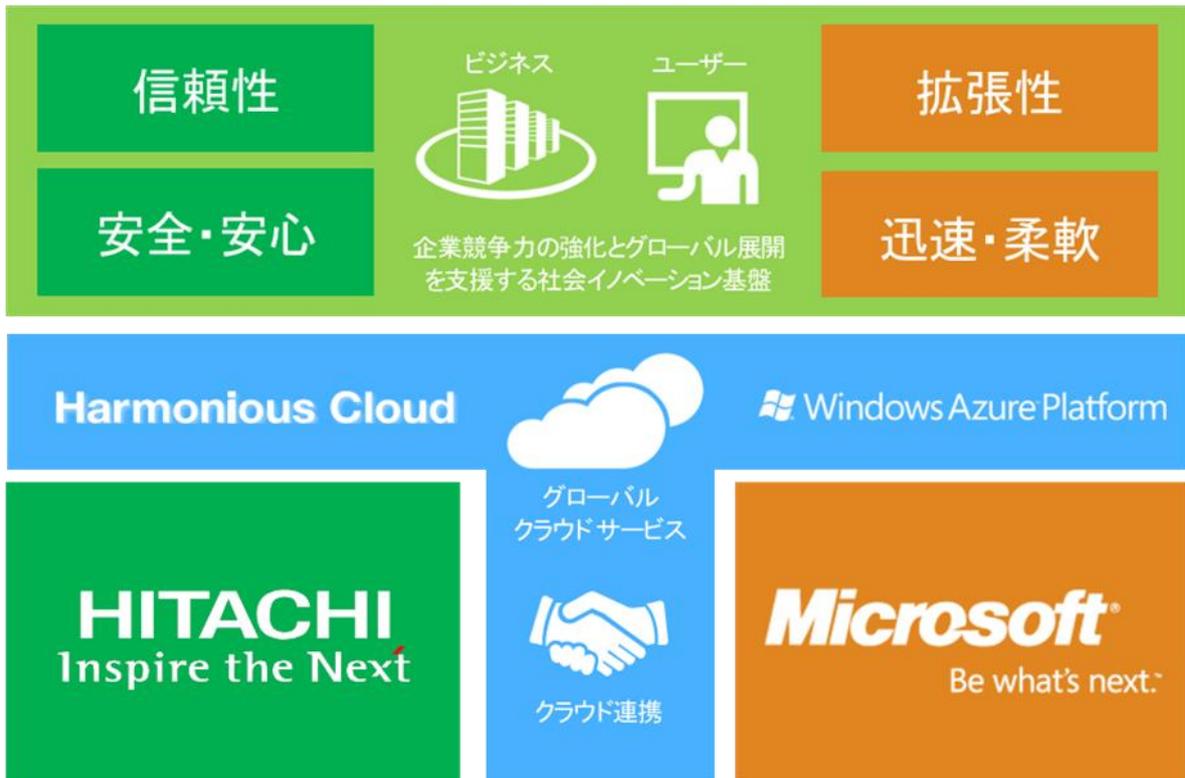
クラウドの急速な適用拡大に伴って、企業ITシステムでのクラウドの利用形態は、情報系システムで部分的に利用する形態(パブリック/プライベートクラウド)から、基幹システムと連携したクラウド利用が進む形態(ハイブリッドクラウド)に大きく進化しつつあります。

ユーザーの基幹システムへのクラウド導入が進む中で、事業をグローバル展開しているユーザーには、「マイクロソフト プラットフォームベースの既存IT資産を有効活用したい」「海外に業務データを置きたくない」「グローバルベースのクラウドを活用した場合の現地サポートが心配」といった、IT投資効率の向上や安全・安心なクラウド利用に関する課題があります。

今回の提携では、最先端の両社のクラウドが連携することで、事業をグローバル展開しているユーザーに対して、既存IT資産の有効活用や安全・安心なクラウド間連携ができることに加え、業務環境を事業環境の変化にも迅速な対応が可能な、ハイブリッドクラウドソリューションを提供していきます。これにより、日本企業のグローバル化とビジネスの強化に寄与していきます。

新たなクラウドソリューションの提供に向けて、日立は豊富な経験に基づいたコンサルティング、システムインテグレーションサービス、高品質・高信頼なクラウドサービスに加えて、データセンター連携の技術としてWAN高速化技術、統合運用管理技術等を提供します。また、マイクロソフトは、進化を続ける「Windows Azure Platform」の最新技術や統合運用に必要な情報や技術、そしてマイクロソフトの世界各地のデータセンターとの連携技術を提供します。さらに、今回の提携では、グローバルに事業を展開するユーザーが安心できる、グローバルでのサポートを両社が連携して提供していきます。

■両社で実現するハイブリッドクラウドソリューションのビジョン



■両社で実現するハイブリッドクラウドソリューションの特長

1. 既存IT資産を有効活用できるハイブリッドクラウドの提供

(1) 既存アプリケーション資産を有効に活用

Windows Azure Platformは、Windows上のアプリケーションの移行が容易であり、ユーザーの既存アプリケーション資産をクラウド化して有効活用できます。

(2) 海外への業務環境の拡張に実績があるクラウドを利用

グローバルで実績を持つWindows Azure Platformや、クラウドサービスプラットフォーム「Cosminexus」を利用することで、海外拠点の増減に応じた、効率の良い業務環境の構築・拡張をめざします。

(3) ハイブリッドクラウドの効率的な運用管理

日立の国内データセンターとマイクロソフトの世界各地域のデータセンターが連携したグローバルなハイブリッドクラウドは、日本国内から統合システム運用管理「JP1」を利用した統合運用管理を行うことで、ユーザーのITシステム管理効率の向上をめざします。

2. 安全・安心にクラウド間連携ができるハイブリッドクラウドの提供

(1)重要な業務データは日本国内に保管

重要な業務データは、堅牢性の高い構造とハイレベルなセキュリティ環境を実現している日立の国内データセンターに保管します。基幹システムで実績のある日立ストレージを使用し、安全・安心にデータの格納・保管ができます。

(2)高速かつ安全な情報連携

日立のWAN高速化装置「日立WANアクセラレータ」により高速な通信を実現し、マイクロソフトのWindows Azure Platformの安全なWAN接続機能「Azure Connect」の利用により、両社のクラウド間連携における安全な情報連携が可能です。

(3)海外拠点の近くでのグローバルサポート(現地サポート)の提供

海外拠点の近くにサポート窓口を設けて、両社でのサポート連携をすることにより、現地で、障害切り分けや問い合わせなどに対する早期対応や、日本国内にいるシステム管理者との連携を迅速に行えるようにします。

■日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」について
<http://www.hitachi.co.jp/cloud/>

■「Windows Azure Platform」について
<http://www.microsoft.com/japan/windowsazure/>

■クラウドサービスプラットフォーム「Cosminexus」について
<http://www.hitachi.co.jp/cosminexus/>

■統合システム運用管理「JP1」について
<http://www.hitachi.co.jp/jp1/>

■WAN 高速化装置「日立 WAN アクセラレータ」について
<http://www.hitachi.co.jp/wan-accelerator/>

■商標に関する表示

- ・Harmonious Cloud、Cosminexus、JP1は、(株)日立製作所の日本における商品名称(商標又は、登録商標)です。
- ・Microsoft、Windows Azureは、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- ・Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- ・その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 ITサービス事業部 クラウド事業推進部 [担当:井上]
お問い合わせWebフォーム:<http://www.hitachi.co.jp/cloud-inq/>

日本マイクロソフト株式会社 マイクロソフト カスタマーインフォメーションセンター
TEL:0120-41-6755

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
